

平成28年度 都市景観大賞

東北から「大賞」1件（福島県喜多方市）、
「優秀賞」2件（山形県川西町、福島県いわき市）、
「特別賞」1件（宮城県石巻市）受賞！

都市景観大賞「景観まちづくり活動・教育部門」において、全国各地の応募の中から、福島県喜多方市の「南町2850プロジェクト ～喜多方市小田付地区 空き家・空き地の再生～」が大賞に選ばれました。

また、山形県川西町の「高校生と共に進めるイザベラ・バードの古道復元活動」と、福島県いわき市の「まちづくり総合学習」が優秀賞に選ばれました。

「都市空間部門」においても、宮城県石巻市の「新蛇田地区」が「特別賞」に選ばれました。

都市景観大賞（主催：「都市景観の日」実行委員会）は、良好な景観の形成に資する普及啓発活動の一環として、平成3年度より毎年度実施されている表彰制度です。景観に関する優れた地区・活動に対し「大賞」、「優秀賞」等を授与し、更なる取組の契機としていただくとともに、良好な景観の形成が推進されることを目的に、全国に広く紹介しております。

なお、大賞（国土交通大臣賞）の表彰につきましては、6月10日に開催される「まちづくりと景観を考える全国大会」（東京都文京区 住宅金融支援機構本店1F 「すまい・るホール」）において行われます。

別紙1 受賞活動・受賞地区の概要

別紙2 平成28年度都市景観大賞受賞地区及び団体の一覧（全国分）

別紙3 過去の東北管内受賞地区等一覧（平成18年度～27年度）

＜ 発表記者クラブ：宮城県政記者会、山形県政記者クラブ、米沢記者倶楽部、福島県政記者クラブ、東北電力記者会、東北専門記者会 ＞

＜問い合わせ先＞

国土交通省 東北地方整備局 電話 022-225-2171（代表）
建政部 計画・建設産業課長 佐藤 孝（内6121）



平成 28 年度 都市景観大賞

「都市空間部門」受賞地区の概要

「景観まちづくり活動・教育部門」受賞活動の概要

「都市景観の日」実行委員会

■主催：「都市景観の日」実行委員会

(公財)都市計画協会、(一社)日本公園緑地協会、(独)都市再生機構、(一財)民間都市開発推進機構、(公社)日本都市計画学会、(一財)都市みらい推進機構、(公社)街づくり区画整理協会、(一社)日本屋外広告業団体連合会、(公財)都市づくりパブリックデザインセンター、全国景観会議、都市景観形成推進協議会、歴史的景観都市連絡協議会、全国街路事業促進協議会

■後援：国土交通省

■協賛団体：

(一財)都市文化振興財団、(一財)計量計画研究所、(公財)区画整理促進機構、(公社)日本交通計画協会、(一社)再開発コーディネーター協会、(一社)日本造園建設業協会、(一財)公園財団、(一社)ランドスケープコンサルタンツ協会、(公社)日本下水道協会、(公財)自転車駐車場整備センター、(公社)立体駐車場工業会、全国土地区画整理事業推進協議会、都市再開発促進協議会

■事務局：(公財)都市づくりパブリックデザインセンター

〒112-0013 東京都文京区音羽2丁目2番2号 アベニュー音羽2階 TEL 03-6912-0799 URL <http://www.udc.or.jp>

【大賞】（国土交通大臣賞）

■活動名：南町 2850 プロジェクト ～喜多方市小田付地区 空き家・空き地の再生～

■活動範囲：福島県喜多方市（小田付地区）

■応募者：会津北方小田付郷町衆会、福島県立喜多方桐桜高等学校、株式会社ワークヴィジョンズ、福島県建築士会 喜多方支部、株式会社 光進都市コンサルタント、福島県喜多方建設事務所、喜多方市、公益財団法人 福島県区画整理協会

■活動の概要：

「南町 2850」は長い間、空き地・空き家として放置され、景観協定地区内にあることから地元住民にとって悩みの種であった。平成 23 年の東日本大震災で蔵の壁が一部崩壊したことをきっかけに、町衆会が中心となり桐桜高校などの協力を得て、南町 2850 の再生が始まった。平成 25 年の大雪では家屋の一部が倒壊し、継続的に活動をしていくことが必要となり、平成 25 年からは福島県区画整理協会の「地域づくり活動支援事業」、平成 26 年からは福島県「子ども未来創造まちづくり事業」の支援を受けて活動している。

この「南町 2850 プロジェクト」は、小田付地区の表通りに面する荒廃した空き地・空き家を舞台に喜多方の蔵文化の継承活動を行う事を目的としている。高校生が地元の人や職人等のプロと一緒に、まちあるき、デザインワークショップ、施工ワークショップという一連の活動を通して、自分たちで考え、自分たちで施工するという、教室では得られない貴重な経験を積んでいる。

■審査講評：

本プロジェクトの地域では急速な人口減少によって空き家（空き蔵）が増え、それらが平成 23 年の東日本大震災で一部崩壊などの被害が出てきており、喜多方市「小田付地区まちづくり整備方針」（平成 24 年）づくりが契機となって『小田付まちづくり協議会』が発足し、確実な成果を出している活動である。特に、「おたづき蔵通り街路整備事業」として毎年、喜多方桐桜高校エリアマネジメント科と建設科の 2・3 年生も参加する活動は高校生がまちに出て、まち歩き、施工ワークショップ等を通じて、地元の人や職人等との交流を行い、実際にまちを変えることにより、まちの人々に刺激を与えている。さらに高校生がデザインワークショップで考えたプランをもとに実際に施工した現場が、将来もまちの風景として残っていくことから、生徒たちは大変やりがいをもっている活動である。高校生が地元の人や職人等と活発な対話を行い、普段、あまり交流の機会がない両者にとって大変刺激になっている。なお本プロジェクトは福島県の地域づくり活動支援事業、子ども未来創造まちづくり事業として位置づけられていることは今後の展開にも期待が持て、世代の交流も良好で、旦那衆のまちづくり遺伝子が次世代の若旦那に引き継がれ、さらに高校生を巻き込んだ人材育成としても独自性のある取組であり、都市景観大賞にふさわしいと評価できる。（小澤）



喜多方桐桜高校エリアマネジメント科 3 年生 38 名、1 年生 39 名との「芝生ワークショップ」の開催。



桐桜高校建設科と情報システム科 5 名による「レンガ積みワークショップ」の開催。

【優秀賞】（（公財）都市づくりパブリックデザインセンター理事長賞）

■活動名：高校生と共に進めるイザベラ・バードの古道復元活動

■活動範囲：山形県川西町（小松地区）

■応募者：諏訪峠古道保存会

■活動の概要：

当地区は、旧越後街道を新潟から米沢に向かう最後の宿場町として栄え、寺社など古の所縁の地も多い。その中でも明治11年、イギリス人女性旅行作家のイザベラ・バードが辿った道は、著書「日本奥地紀行」にも記された。しかし、旧越後街道十三峠の最終峠でもある諏訪峠古道は灌木に覆われ、昔の面影を失っていた。その諏訪峠古道の復元をめざしながら、イザベラ・バードが絶賛したといわれる眺望や、「東洋のアルカディア」と評した豊かな大地を地元の宝として残すために、異世代が連携し、次世代に継承する景観教育並びにまちづくりに取り組んだ活動である。また、これは単なる古道整備に終わる活動ではなく、バードが辿った道をトータルな景観として完成させながら、歴史教育やまちづくり活動の生きた教材として整備しながら、地域の宝物を次世代に残し、その自覚と誇りを、自らの行動によって体得させようとするもので、高校生等の若者と地元住民が一体となった地域創生につながる景観活動である。

■審査講評：

英国人旅行作家イザベラ・バードが明治時代に日本奥地紀行に記した諏訪峠に注目し、彼女が旅した古道を復元させようという発想はユニークである。特に、地元置賜農業高校の生徒が課題研究という授業の一貫として、山道を切り開きながら古道を歩ける形に整備し、彼女が「東洋のアルカディア」と評した場所といわれる山頂にアクセスできるようになったことは大変素晴らしい。現在でも、そのポイントから美しい眺望景観を楽しむことができる。また、生徒がこの活動を通じて、郷土の歴史や魅力を学習した点も評価できる。

しかし、その古道の整備もまだ上り道だけで、案内板の設置も今後の課題であるため、もう少し継続的な活動を期待したい。また、農業高校の生徒とその卒業生はこの古道整備だけでなく、羽前小松駅の有人運営、地場商品の開発、チャレンジショップの運営等、地域づくりに幅広く関わっており、この点も高く評価できる。（卯月）



次世代継承事業として、地元農業高校生ガイドの養成講座を開講。



高校生が古道の倒木を伐採して、古道を整備している。

【優秀賞】（（公財）都市づくりパブリックデザインセンター理事長賞）

■活動名：まちづくり総合学習

■活動範囲：福島県いわき市（久之浜・大久地区）

■応募者：いわき市立久之浜第一小学校、久之浜大久地区まちづくりサポートチーム

■活動の概要：

当地区は東日本大震災により甚大な被害を受けた地域であり、現在も多くの課題を抱えている。復興事業は住民有志による協議の上で進められ、震災復興の指針となるグランドデザインを策定、災地の造成工事が進んでおり、平成28年度より序々に建物が施工される予定である。そういった中、短期で考えるまちづくり（避難経路の整備や、廃れつつある地域行事の復活など）と長期で考えるまちづくり（未来の子どもたちにどのようなまちを残すのかといった議論）が進んでおり、地元の小学校である久之浜第一小学校と、建築家が多く在籍する久之浜大久地区まちづくりサポートチームが震災後のまちづくり教育で連携し、「未来のまちづくりの担い手を育てること」「まちづくりを通して考える力を育むこと」を目標に授業やワークショップを共同で運営する事となった。子どもたちが「自分の住む地域の魅力を考えることの大切さと面白さを感じてもらうこと」「自分の意見を一住民（未来のまちの担い手）の意見として大人へ届けること」をテーマに本プログラムは開発された。

■審査講評：

応募地域の福島県いわき市久之浜・大久地区は先の震災で甚大な被害を受けた地域である。そして、まさに現在進行形で復興が進められている地域でもある。本団体の活動はその地域にある久之浜第一小学校に於いて、総合的な学習を通してまちづくりへの提案を視野に入れた活動を展開している。この教育プログラムは既に、多方面から高い評価を受けているが、カリキュラムを見てみると確かに随所にユニークな工夫が見られ興味深い。子どもたちの表現力を様々な形で表出させる試みもその一つである。また、防災緑地をテーマとしたプログラムなどは、復興途上である被災地沿岸部の他校においても参考となるカリキュラムであろう。但し、活動期間が3年間という活動期間の実績と、今後、継続してゆくための諸機関との連携方法などの課題が残されている。これらのことを総合的に判断した結果、優秀賞とした。（大道）



ファシリテーター（サポートチーム&地元の方）と共にアイデアを出し合う子どもたち。



アイデアを地図にし、それを基に模型を作成。

【特別賞】（（公財）都市づくりパブリックデザインセンター理事長賞）

■地区名：新蛇田地区 ■面積：46.5ha ■所在：宮城県石巻市 ■応募者：石巻市

■地区の概要：

本地区は石巻市の中心部から西へ約4km、三陸縦貫自動車道の石巻河南ICに近接する被災市街地復興土地区画整理事業地区（石巻市施行）である。石巻市は東日本大震災で全住宅の約3/4が被災し、5万人強の方が避難するような状況であった。そのような中、平成23年12月に震災復興基本計画を策定、翌年3月に都市計画決定、同年7月に事業認可、平成26年11月に第一期宅地供給、平成27年3月に第一期復興公営住宅入居、同年11月には「まちびらき」と異例の速さで事業を進行させた。

計画地の東側は土地区画整理事業が完了、南側はJR仙石線まで新蛇田南復興土地区画整理事業が展開されている。こうした立地を生かしてJR仙石線に新駅を設置し、この駅へ続く歩行者専用空間を軸に「憩いの空間」や「水辺の空間」を配置、穏やかな気持ちで過ごせる空間を整えている。

また、四阿には地元の雄勝石を屋根材に使用し、高圧線下には「返礼」と「困難に打ち勝つ」という花言葉を持ったハナミズキとサザンカを配した「四季の並木道」を設置、健康遊具、防災ベンチなども備えた「希望」の住宅地を生み出している。

当地区は、新しいまちとして、スタートしたばかりである。今後も石巻の復興を先導する地区として、地域の特徴や、空間特性を計画的・段階的に整備し、これからもみんなに親しまれ、育まれ、そして愛されるよう、地域と行政が協働してエリアマネジメントに取り組んでいく。

■審査講評：

本地区は東日本大震災の復興という非常に難しい状況下で取り組まれた事業であるにも関わらず、立地選定から「まちびらき」まで極めて短期間のうちに事業を進捗させ、早期の住宅供給を実現した。また、一方でJR仙石線に新駅を設置して中心市街地との間を公共交通で結ぶ、地区内に歩行者空間を巡らせて健康や防災を意識した空間づくりを目指すなど次の時代を意識した取り組みも行われている。加えて、復興公営住宅についても集会施設はもちろん菜園も用意されているなど、被災された方のライフスタイルを意識した工夫も見受けられる。

平時の新市街地型土地区画整理事業と同じように、地区計画を活用して景観に配慮したまちづくりを目指しているが、「まちびらき」が行われたばかりであるため、現時点では景観形成の中心は公共施設となっており、まだコミュニティとして成熟した取組が幅広く、多様・多彩に行われているわけではない。

今後、被災者の皆さんがこの地で新しいコミュニティを育み、一段と質の高い景観まちづくりに協働で取り組む日が一日も早く来ることを期待して、ここに特別賞を授与するものである。（岸井）



高圧線下の土地の公共用地（歩行者専用道路）として利用した四季の並木道。幅員を広く、有効的に確保することで、交流を深めるイベント等のテント設営も可能とした。



1号公園の湧水の池より南北に設けた「せせらぎ」による『水辺空間』。手押しポンプを設け、子どもから大人まで親しまれるスペースを用意した。

「景観まちづくり活動・教育部門」

別紙 2

受賞活動一覧

「大賞」(国土交通大臣賞)

応募件数：23 件

活 動 名	活動エリア	応 募 者
みなみまち 南町 2850プロジェクト ～喜多方市 おたづき 小田付地区 空き家・空き地の再生～	福島県喜多方市 小田付地区	<ul style="list-style-type: none"> ・ あいづきたかたおたづきごうまちしゅうかい 会津北方小田付郷町衆会 ・ 福島県立喜多方桐桜高等学校 ・ 株式会社 ワークヴィジョンズ ・ 福島県建築士会 喜多方支部 ・ 株式会社 光進都市コンサルタント ・ 福島県喜多方建設事務所 ・ 喜多方市 ・ 公益財団法人 福島県区画整理協会
景観まちづくり 街のみなでおもてなし ふくえ 「福江＊つるし飾りロード」	愛知県田原市 福江地区	<ul style="list-style-type: none"> ・ きよた ふくえ 清田・福江校区まちづくり推進協議会
にしてつやながわ 西鉄柳川駅周辺に於ける市民・事業者・ 行政・専門家による景観まちづくりの 取り組み	福岡県柳川市 西鉄柳川駅周辺地区	<ul style="list-style-type: none"> ・ 柳川市 ・ 西日本鉄道株式会社 ・ 西鉄柳川駅周辺地区デザイン検討会議 ・ 柳川市立藤吉小学校 育友会 父親委員会

「優秀賞」(公益財団法人 都市づくりパブリックデザインセンター理事長賞)

活 動 名	活動エリア	応 募 者
高校生と共に進めるイザベラ・バードの 古道復元活動	山形県川西町 小松地区	<ul style="list-style-type: none"> ・ すわとうげこどう 諏訪峠古道保存会
まちづくり総合学習	福島県いわき市 久之浜・大久地区	<ul style="list-style-type: none"> ・ いわき市立久之浜第一小学校 ・ ひさのはまおひさ 久之浜大久地区まちづくりサポートチーム
くりやま 栗山みどりの保全事業（たろやまの郷）	千葉県四街道市 たろやまの郷	<ul style="list-style-type: none"> ・ 四街道市 ・ くりやま 栗山みどりの保全事業実行委員会
ふじさわこどもまちづくり会議	神奈川県藤沢市 藤沢市内全区	<ul style="list-style-type: none"> ・ ふじさわこどもまちづくり会議実行委員会
ふところじま 懐島 プロジェクト —歴史・地形・生活から読み解く—	神奈川県茅ヶ崎市 懐島エリア	<ul style="list-style-type: none"> ・ まち景まち観フォーラム・茅ヶ崎
なかせんどうなかつがわじゅく 中山道中津川宿の景観まちづくり	岐阜県中津川市 中山道中津川宿	<ul style="list-style-type: none"> ・ ほんまちなかせんどう 本町中山道景観協議会＋中津川市＋ 名古屋工業大学景観研究会 ・ 中津川市 ・ 名古屋工業大学景観研究会

「都市空間部門」

受賞地区一覧

「大賞」（国土交通大臣賞）

応募件数：12 件

地 区 名	地区面積	応 募 者
こしがや 越谷レイクタウン地区 (埼玉県越谷市)	約 225.6 ha	<ul style="list-style-type: none"> 埼玉県 越谷県土整備事務所 越谷市 一般社団法人 越谷市観光協会 独立行政法人 都市再生機構 首都圏ニュータウン本部
しんかわせんぼんざくらえんせん 新川千本桜沿川地区 (東京都江戸川区)	約 39.0 ha	<ul style="list-style-type: none"> しんかわせんぼんざくら 新川千本桜の会 江戸川区
きゅうちょうふふじみちようじゅうたく 旧調布富士見町住宅地区 (東京都調布市)	約 1.6 ha	<ul style="list-style-type: none"> 調布富士見町住宅マンション建替組合 調布市 株式会社 NEXT ARCHITECT&ASSOCIATES
きゅうとうかいどうふたがわしゆく 旧東海道二川宿地区 (愛知県豊橋市)	約 35.5 ha	<ul style="list-style-type: none"> 豊橋市 ふたがわしゆく 「二川宿」まちづくり会 おおいわちようひがし 大岩町東まちづくり会 おおいわなか 大岩中まちづくり会 特定非営利活動法人 ふたがわしゆく 二川宿 ふたがわ おおいわ 二川・大岩まちづくり協議会 いわや 岩屋緑地に親しむ会 ふたがわ 二川リンケージ ふたがわ 二川つるし飾りの会 国立大学法人 豊橋技術科学大学
がいの おおかいどうしゅうへん ロープウェー街・大街道周辺地区 (愛媛県松山市)	約 5.6 ha	<ul style="list-style-type: none"> 松山ロープウェー商店街振興組合 松山ロープウェー中央商店街振興組合 おおかいどう 松山大街道商店街振興組合 森ビル株式会社 国土交通省松山河川国道事務所 松山市

「優秀賞」（公益財団法人 都市づくりパブリックデザインセンター理事長賞）

地 区 名	地区面積	応 募 者
け ご こうえんしゅうへん 警固公園周辺地区 (福岡県福岡市)	約 1.1 ha	<ul style="list-style-type: none"> 福岡市 福岡大学工学部景観まちづくり研究室 アーバンデザインコンサルタント け ご 警固公園対策会議

「特別賞」（公益財団法人 都市づくりパブリックデザインセンター理事長賞）

地 区 名	地区面積	応 募 者
しんへびた 新蛇田地区 (宮城県石巻市)	約 46.5 ha	<ul style="list-style-type: none"> 石巻市

平成 28 年度 都市景観大賞について

平成 28 年度からは、下記の通り、「都市空間部門」と「景観まちづくり活動・教育部門」について募集しました。昨年度、景観法 10 周年記念として実施した「景観づくり活動部門」と従来の「景観教育・普及啓発部門」を統合し、本年度から、新たに「景観まちづくり活動・教育部門」として募集しました。

I. 都市空間部門について

1. 表彰目的
- 都市景観大賞「都市空間部門」は、良好な都市景観を生み出す優れた事例を選定し、その実現に貢献した関係者を顕彰し、広く一般に公開することにより、より良い都市景観の形成を目指すものです。
2. 表彰内容
- ① 大賞（国土交通大臣賞） ……原則 1 ～ 2 地区

② 優秀賞 ……………数地区

③ 特別賞 ……………内容に応じ、適宜選定
3. 対象地区の要件
- 本賞は、街路・公園や公開空地等の公共的空間とその周りの宅地・建物等が一体となって良質で優れた都市景観が形成され、それを市民が十分に活用することによって、地域の活性化が図られている地区を対象とします。単独の公共施設、建築物、構造物は対象になりません。
4. 応募者の資格
- 良質で優れた都市景観の実現に深く寄与した地方公共団体、まちづくり組織、市民団体、民間企業・コンサルタント、独立行政法人、公社等とします。
※多くの関係者による共同応募が望ましいですが、単独でも応募者になれます。
5. 審査
- 「都市景観の日」実行委員会内に設置される都市景観大賞審査委員会において、応募図書等をもとに、内容を審査（書類選考、現地視察・ヒアリング）した上で、表彰地区を選定します。
6. 審査委員
- 委員長 陣内 秀信 法政大学教授

委 員 池邊このみ 千葉大学教授

卯月 盛夫 早稲田大学教授

岸井 隆幸 日本大学教授

佐々木 葉 早稲田大学教授

高見 公雄 法政大学教授

田中 一雄 ㈱GK インダストリアルデザイン代表取締役

富田 泰行 トミタ・ライティングデザイン・オフィス代表取締役

国土交通省 都市局公園緑地・景観課長

国土交通省 都市局市街地整備課長

国土交通省 住宅局市街地建築課長
- (順不同、敬称略、平成 28 年 5 月現在)

II. 景観まちづくり活動・教育部門について

1. 表彰目的
- 都市景観大賞「景観まちづくり活動・教育部門」は、地域に関わる人々が景観に関心を持ち、自らの問題として捉え、その解決へ向けて活動できるよう意識啓発、知識の普及、景観法や景観に関する制度等（以下「景観制度」という。）を活用した取組等による活動を選定・顕彰し、広く一般に公開することにより、より良い都市景観の形成を目指すものです。
2. 表彰内容
- ① 大賞（国土交通大臣賞） ……原則 1 ～ 2 活動

② 優秀賞 ……………数活動

③ 特別賞 ……………内容に応じ、適宜選定
3. 募集対象
- 景観まちづくり教育の実施や、街歩きや景観に関するセミナーの開催、景観制度を活用した取組など景観まちづくり活動の実施による良好な景観形成等のための活動を地域に根差して行っており、それらが地域の人々の景観への意識・関心の高揚等につながっている優れた活動を対象とします。
4. 応募者の資格
- 景観まちづくり活動や景観まちづくり教育による意識啓発、知識の普及、景観制度を活用した取組などを行っている、学校、まちづくり組織、市民団体、地方公共団体などで、かつ、地域に根差した活動を 3 年以上継続して実施している団体とします。
5. 審査
- 「都市景観の日」実行委員会内に設置される都市景観大賞審査委員会において、応募図書等をもとに、内容を審査（書類選考、現地視察・ヒアリング）した上で、表彰団体を選定します。
6. 審査委員
- 委員長 小澤紀美子 東京学芸大学名誉教授

委 員 卯月 盛夫 早稲田大学教授

大道 博敏 江東区立越中島小学校主幹教諭

福井 恒明 法政大学教授

国土交通省 都市局公園緑地・景観課長
- (順不同、敬称略、平成 28 年 5 月現在)

過去の東北管内受賞地区等一覧（平成18年度～平成28年度）

別紙3

年度	美しいまちなみ賞	都市空間部門	景観教育・普及啓発部門	景観づくり活動部門	景観まちづくり活動・教育部門
18	○優秀賞 黒石市 こみせ通り地区 (青森県黒石市) ・津軽こみせ株式会社 ・青森県黒石市				
19	○優秀賞 三春町 大町地区 (福島県三春町) ・磐州通り街づくり協定運営委員会 ・福島県三春町				
20	該当なし				
21	該当なし				
22	☆大賞 金山町 金山地区 (山形県 金山町) ・金山地域区長サミット ・山形県金山町 ○優秀賞 会津若松市 七日町通り地区 (福島県会津若松市) ・七日町通りまちなみ協議会 ・福島県会津若松市				
23		◇特別賞 仙台市 定禅寺通地区 (宮城県仙台市) ・定禅寺通街づくり協議会 ・宮城県仙台市	○優秀賞 建築や都市デザイン手法を用いた景観まちづくり学習 ・建築と子供たちネットワーク仙台 (宮城県仙台市) ○優秀賞 わくわくタイム (大好き中央台) ・いわき市立中央台東小学校 (福島県いわき市)		
24		該当なし	該当なし		
25		該当なし	☆大賞 子どもが参画する歴史的建造物の景観再生プロジェクト-出会いから震災復興まで- ・建築と子供たちネットワーク仙台 (宮城県仙台市)		
26		☆大賞 鶴岡市シビックコア周辺地区 (山形県鶴岡市) ・鶴岡市 ・馬場町五日町線まちづくり協議会 ○優秀賞 小峰城跡・白河駅周辺地区 (福島県白河市) ・白河市 ・株式会社 楽市白河 ・特定非営利活動法人しらかわ建築サポートセンター	○優秀賞 骨寺村荘園遺跡の景観保全活動を通じた地域づくり事業 ・本寺地区地域づくり推進協議会 (岩手県一関市)		
27		○優秀賞 二本松市竹田根崎竹根通り沿道地区 (福島県二本松市) ・竹田根崎まちづくり振興会議 ・福島県 ・二本松市 ・早稲田大学都市計画研究室 ・芝浦工業大学地域デザイン研究室	該当なし	☆大賞 住民参画による景観まちづくり ・宮城県松島町	
28		◇特別賞 新蛇田地区 (石巻市) ・石巻市			☆大賞 南町28507プロジェクト ～喜多方市小田付地区 空き家・空き地の再生～ ・会津北方小田付郷町衆会 ・福島県立喜多方桐桜高等学校 ・株式会社 ワークヴィジョンズ ・福島県建築士会 喜多方支部 ・株式会社 光進都市コンサルタント ・福島県喜多方建設事務所 ・喜多方市 ・公益財団法人 福島県区画整理協会 ○優秀賞 高校生と共に進めるイザベラ・バードの古道復元活動 ・諏訪峠古道保存会 ○優秀賞 まちづくり総合学習 ・いわき市立久之浜第一小学校 ・久之浜大久地区まちづくりサポートチーム

※平成22年度までは、「美しいまちなみ賞」として表彰。

※平成23年度から、「都市空間部門」と「景観教育・普及啓発部門」の2部門として表彰。

※平成27年度から、「都市空間部門」、「景観教育・普及啓発部門」及び「景観づくり活動部門」の3部門として表彰。

※平成28年度から、「都市空間部門」と「景観まちづくり活動・教育部門」の2部門として表彰

(平成13年度からの受賞地区につきましては(財)都市づくりパブリックデザインセンターのホームページをご参照ください。)

<http://www.udc.or.jp/activities/taisho/iushochiku.html>